



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 東亜ディーケーケー株式会社
 コード番号 6848 URL <http://www.toadkk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 俊夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉田 壽
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3202-0211

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,538	△10.6	1,158	△20.6	1,217	△18.3	840	△16.7
2019年3月期第3四半期	12,900	20.4	1,459	47.4	1,490	45.1	1,008	45.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,023百万円 (142.8%) 2019年3月期第3四半期 421百万円 (△53.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	42.38	—
2019年3月期第3四半期	50.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	22,964	16,547	72.1
2019年3月期	22,793	15,841	69.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 16,547百万円 2019年3月期 15,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	16.00	16.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,650	0.6	2,050	3.4	2,100	2.6	1,400	5.9	70.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	19,880,620 株	2019年3月期	19,880,620 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	47,943 株	2019年3月期	47,943 株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	19,832,677 株	2019年3月期3Q	19,832,717 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は同日に当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～12月31日）におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響が懸念される中、緩やかな景気回復が継続し、設備投資は人手不足対策と生産性向上を目指して堅調に推移いたしました。一方、海外においては、中国経済の減速、英国のEU離脱、日韓関係の悪化等による不確実性への懸念が残り、不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、2019年4月からスタートした中期経営計画のもと、「水・大気・医療・ガス」の4本柱でさらなる成長に向けた施策を積極的に進めております。

国内では、4月1日付で連結子会社の東亜DKKアナリティカ株式会社を吸収合併することで、業務効率化を図り事業運営を強化した他、科学分析機器の新製品発売キャンペーンの展開等に注力いたしました。一方、主要市場である中国では、大気汚染規制強化に伴う商戦本格化に向け、中国最大の環境保護展（CIEPEC2019）に出展するなど、活発な受注活動を展開しました。また、環境水質監視用の全窒素・全りん自動測定装置の新モデルで中国の国家性能認証を取得するとともに、中国での現地生産も軌道に乗りつつあり、事業拡大を推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、アジアにおいて前年同期に大型案件を売上げた反動等から、売上高は11,538百万円（前年同期比10.6%減）となりました。利益につきましては、営業利益は1,158百万円（前年同期比20.6%減）、経常利益は1,217百万円（前年同期比18.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は840百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

<計測機器事業>

環境・プロセス分析機器分野では、国内においては、主力の基本プロセス計測器をはじめ、環境大気測定装置や環境用水質分析計の販売が好調に推移したものの、海外では、アジアにおける前年同期の大型案件の反動減などから、当分野の売上高は前年同期比24.0%減となりました。

科学分析機器分野では、ポータブル分析計の新製品を中心に、国内での売上は増加しましたが、台湾や韓国への販売が苦戦し、全体の売上高は減少しました。また、医療関連機器の主要製品である粉末型透析用剤溶解装置につきましては、一部OEM先の納期調整の影響により売上高が前年同期を下回りました。これらの結果、当分野の売上高は前年同期比6.2%減となりました。

産業用ガス検知警報器分野では、国内外での販売が減少し、売上高は前年同期比4.9%減となりました。

電極・標準液、保守・修理及び部品・その他のアフタービジネス分野につきましては、国内機器販売の増加に伴い、売上高は全体で前年同期比2.1%増となりました。

以上の結果、当事業の売上高は11,339百万円（前年同期比10.8%減）、セグメント利益は1,593百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

<不動産賃貸事業>

東京都新宿区の本社に隣接の賃貸ビル1棟ほかを所有し、不動産賃貸事業を行っております。当事業の売上高は198百万円、セグメント利益は127百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ170百万円増加の22,964百万円となりました。これは、たな卸資産が426百万円、投資有価証券が194百万円、現金及び預金が139百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が478百万円減少したことなどによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ535百万円減少の6,416百万円となりました。これは、短期借入金が276百万円増加し、未払法人税等が392百万円、賞与引当金が218百万円、未払金が181百万円それぞれ減少したことなどによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ706百万円増加の16,547百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期業績の見通しにつきましては、2019年5月8日に公表した業績予想に変更はありません。

なお、業績予想に修正の必要が生じた場合は速やかに開示させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,485	5,624
受取手形及び売掛金	5,603	5,125
電子記録債権	1,319	1,350
商品及び製品	1,031	1,269
原材料	801	795
仕掛品	742	938
その他	251	235
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	15,234	15,337
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,525	2,465
機械装置及び運搬具（純額）	162	130
工具、器具及び備品（純額）	289	251
土地	1,750	1,750
リース資産（純額）	61	112
建設仮勘定	0	14
有形固定資産合計	4,789	4,725
無形固定資産		
ソフトウェア	71	108
その他	13	33
無形固定資産合計	84	142
投資その他の資産		
投資有価証券	1,927	2,122
繰延税金資産	379	289
その他	377	347
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,684	2,758
固定資産合計	7,558	7,626
資産合計	22,793	22,964

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,237	1,231
電子記録債務	627	543
短期借入金	430	706
リース債務	19	37
未払金	333	152
未払法人税等	460	67
未払消費税等	102	119
賞与引当金	293	74
役員賞与引当金	33	—
製品点検費用引当金	80	80
その他	305	416
流動負債合計	3,923	3,429
固定負債		
長期借入金	101	49
リース債務	50	110
長期未払金	148	148
長期預り保証金	358	345
役員退職慰労引当金	63	40
退職給付に係る負債	2,233	2,217
資産除去債務	74	75
固定負債合計	3,029	2,987
負債合計	6,952	6,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,842	1,842
資本剰余金	1,297	1,297
利益剰余金	11,861	12,384
自己株式	△11	△11
株主資本合計	14,989	15,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	977	1,135
退職給付に係る調整累計額	△126	△100
その他の包括利益累計額合計	851	1,034
純資産合計	15,841	16,547
負債純資産合計	22,793	22,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	12,900	11,538
売上原価	8,003	7,046
売上総利益	4,897	4,491
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,776	1,768
賞与引当金繰入額	35	36
退職給付費用	110	121
役員退職慰労引当金繰入額	12	3
貸倒引当金繰入額	0	0
減価償却費	93	63
研究開発費	291	288
その他	1,117	1,049
販売費及び一般管理費合計	3,437	3,332
営業利益	1,459	1,158
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	21	21
持分法による投資利益	5	7
為替差益	—	1
保険解約返戻金	—	6
その他	14	27
営業外収益合計	41	64
営業外費用		
支払利息	5	6
債権売却損	0	0
為替差損	4	—
その他	0	0
営業外費用合計	10	6
経常利益	1,490	1,217
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	0	29
特別利益合計	0	29
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	3	2
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	3	—
リース解約損	0	1
特別損失合計	8	4
税金等調整前四半期純利益	1,482	1,242
法人税等	474	402
四半期純利益	1,008	840
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,008	840

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,008	840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△599	157
退職給付に係る調整額	12	25
その他の包括利益合計	△587	183
四半期包括利益	421	1,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	421	1,023

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	計測機器事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	12,706	194	12,900	12,900
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	12,706	194	12,900	12,900
セグメント利益	1,905	122	2,028	2,028

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,028
全社費用(注)	△568
四半期連結損益計算書の営業利益	1,459

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	計測機器事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	11,339	198	11,538	11,538
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	11,339	198	11,538	11,538
セグメント利益	1,593	127	1,721	1,721

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,721
全社費用(注)	△562
四半期連結損益計算書の営業利益	1,158

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。